

2026 年度 一般選抜入試（B 日程）

【文学部史学科】

地理歴史

解答例（解答のポイント）

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

大問 1

問 1

- (1) 百舌鳥古墳群（百舌鳥・古市古墳群 も可） (2) 群集墳 (3) 国造
(4) 八角墳 (5) 高松塚古墳 (6) 器財埴輪

問 2

（解答例 1）

朝鮮半島から伝わった石室で、後期の古墳に用いられた。墳丘側面の横穴の入口から羨道を通して玄室（に至る構造をもち、後からの壁が可能であり、家族の合葬に適していた。

（解答例 2）

竪穴式石室にかわって古墳時代後期に一般化した石室であり、朝鮮半島から伝わった。墳丘の側面から羨道を通して石室にいたる構造をもち、これにより追葬が可能になった。

問 3

古墳時代前期の副葬品は、鉄製農耕具や三角縁神獣鏡などの多量の銅鏡、腕輪型石製品・勾玉など、呪術的性格を帯びたものが多く、被葬者が司祭者的性格を持っていたことをうかがわせる。これに対して、中期になると、大量の鉄製武器、短甲などの甲冑、馬具が副葬されるようになり、被葬者の武人的性格への変化をうかがわせる。4 世紀後半、ヤマト政権は朝鮮半島の情勢に関わるようになった。朝鮮半島で影響を強

め高句麗に対して、百濟はヤマト政権（倭）や加耶とともにこれに戦った。これにより、広開土王碑に碑文にあるように、大和政権は朝鮮半島に兵を送り、高句麗と戦うことになった。『宋書』倭国伝によれば、5世紀に倭の五王が中国の南朝に朝貢した。これは朝鮮半島南部での軍事上の立場を有利にするためであった。古墳時代中期の副葬品や被葬者の性格は、朝鮮半島情勢にヤマト政権が積極的に関わったことを反映したものである。

大問2

問1

- (1) 商船 (2) ヘダ (3) 雲揚（雲揚号も可） (4) イギリス（英国も可）
(5) 空母（航空母艦も可） (6) 第五福竜丸

問2

日清戦争においては、北洋艦隊を黄海海戦で撃破し根拠地威海衛を占領した。日露戦争においては、ヨーロッパから回航してきたバルチック艦隊を日本海海戦で撃破した。

問3

1921年に開催されたワシントン会議において米英日の主力艦保有率を5:5:3とする海軍軍備制限条約が結ばれた。これは主力艦保有率対英米7割を望む軍令部の主張を全権加藤友三郎が押さえ込んだものであった。1930年に開催されたロンドン会議において米英日の補助艦保有率をほぼ10:10:7とするロンドン海軍軍備制限条約が結ばれた。ここでは主力艦の建造禁止をさらに5年延長することも取り決められた。しかし大型巡洋艦対米7割が認められなかったことに対し、軍令部長の反対を押し切って政府が兵力量を決定したのは統帥権干犯であるとの激しい攻撃が立憲政友会・軍令部・右翼から起り、浜口雄幸内閣は枢密院の同意を取りつけて条約の批准には成功したが、同年中に首相浜口は右翼に狙撃されて重傷を負い、翌年には内閣総辞職、浜口もまもなく死亡した。野党とはいえ政友会の行動は政党政治の自殺行為とも評される。2年後の5・15事件で「憲政の常道」も終焉する。

大問3

問1

- (1) 北周 (2) 陳 (3) 科挙 (4) 突厥 (5) 李淵 (高祖) (6) 周

問2

唐は、法体系として律令格式を整え、中央では三省・六部や御史台などの宮制を設けた。さらに均田制を基盤として均等な税役(租調庸制)と兵役(府兵制)を負担させた。

問3

則天武后死後、8世紀初めに即位した玄宗は混乱を収め、国政改革に努めた(開元の治)。しかし、8世紀中頃から貨幣経済の発展とともに兵役や税役に耐え切れなくなった農民が没落し、荘園経営が拡大して、均田制・租調庸制・府兵制を維持できなくなった。このため、府兵制にかえて募兵制を採用し、その軍団の指揮官として節度使を辺境に配置した。こうした状況のなか、玄宗は楊貴妃を寵愛し、その一族を重用した。これに反発した節度使の安祿山らが安史の乱を起こした。安史の乱は節度使やウイグルの援軍を得て鎮圧されたが、やがて節度使が中国内地にも広く置かれ、行政や財政の権限を手中にし、藩鎮として各地に割拠した。安史の乱の最中、唐は財政再建のために塩の専売を実施し、その後兩税法を施行した。しかし、9世紀後半、塩の密売人である黄巢が反乱を起こし(黄巢の乱)、唐の権威は完全に失墜した。唐は907年、節度使の朱全忠によって滅ぼされた。

大問4

問1

- (1) ヴァスコ=ダ=ガマ (2) ゴア (3) マラッカ
(4) マゼラン/マガリャンイス (5) アントウェルペン/アントワープ
(6) グロティウス

問2

オランダは東インド会社を設置してアジアに拠点を築き、アジア間貿易を進めるとともに、アフリカ南端にケープ植民地を建設して、アジアとの貿易ルートの中継地点を確保した。大西洋貿易では西インド会社を設置してスペインの独占を破り、西アフリカとアメリカを結ぶ大西洋奴隷貿易にも参入したほか、北アメリカ沿岸にも植民地を建設した。バルト海貿易や漁業資源でヨーロッパ市場を支配し、先端的な金融組織を構築したオランダは、ヨーロッパの金融の中心でもあった。

イギリスとフランスは、重商主義政策を採用してオランダの商業覇権に挑戦した。

イギリスは航海法を定めて保護貿易策をとり、このため 17 世紀後半には三度にわたる イギリス=オランダ戦争が起こった。フランスも重商主義政策を採用し、オランダを軍事侵略し(オランダ戦争 (1672~78 年))、オランダ経済に打撃を与えようとした。18 世紀には、イギリスとフランスが世界貿易の主導権をめぐる対立するようになる。

大問 5

問 1

- (1) 対蹠 (2) 西インド・バハマ (3) トルデシリャス (4) ファゼンダ
(5) カラジャス (6) 日系人

問 2

低緯度地帯では気温の低い高地の方が居住に適しているため高山都市が発達した。また豊富な地下資源を産出するアンデス山脈の開発拠点として鉱山都市が発達した。

問 3

南北に長い形状を持つラテンアメリカでは、農業は緯度の影響を強く受ける。低緯度地帯のアマゾン川流域では、セルバの熱帯林において伝統的な焼畑農業がみられる。南のブラジル高原にはテラローシャと呼ばれる肥沃な土壌が広がり、プランテーションによるコーヒー栽培が盛んである。近年ではセラードを中心に大規模な大豆生産が行われている。また、バイオエタノールの需要が高まる中で、その原料となるサトウキビやトウモロコシの生産も増えてきている。

中緯度地帯に位置するラプラタ川流域のパンパでは、年間降水量 500mm 以上の地域に小麦生産と牧畜を組み合わせた混合農業がみられる。一方で 500mm 未満の乾燥地域では、大規模な企業的牧畜が行われている。こうした牧畜業の発達には、19 世紀後半に冷凍船が発明されたことによりもたらされた。その後、国際的な需要の高まりにより、労働生産性の高い 企業的牧畜がこの地域に定着した。